

## はたらくということ

校長 池谷 芳彦

2年生の皆さん、職場体験お疲れ様でした。様々な事業所の方から、「瑞中生はすばらしい！」とお褒めの言葉をいただきました。「世界は誰かの仕事でできている」どこかのCMのコピーですが、当たっていると思うし、共感を覚えます。皆さんは、将来働くこと、仕事をする必要があります。今は、そのための準備期間とも言えるでしょう。生徒のうちに確かな学力を身に付けること、社会性を身に付け、社会的自立の基礎を培うことが大切です。

では、人は何のために働くのでしょうか？ 答えは「お金をもらうため」です。仕事には、その対価としてお金をもらうという意味があります。私たちは、そのお金で生活するわけですから、もちろん公務員である学校の先生も働いて給料をいただいています。ボランティアではありません。

ただし、お金をもらうためだけではないところに仕事の価値があると思います。世界の大富豪たちは、生涯使い切れないほどのお金を持っていますが、それでも精力的に仕事をしています。また、ボランティアやNPOなどは、働いた報酬を「お金」としてはほとんどもらっていません。大富豪ではなくても、お金をもらってなくても生き生きと働いている人たちがいます。「働く」「仕事をする」目的は、報酬としてお金をもらうだけではなさそうです。どちらかという、働いた結果であるお金よりも「働き」そのもの、仕事内容に充実感を得ていると思います。「働く」「仕事をする」とは、「お金+ $\alpha$  (プラスアルファ)」ということです。 $+\alpha$ の部分は、人によって様々です。「働く意味」を考え、 $+\alpha$ を探し求め続け、定職に就かない人たちもいます。

ドナルド・E・スーパーは「仕事に何を求めているか」という点に関して14の労働価値を示しています。

- ・能力の活用（自分能力を発揮できる）
- ・達成（良い結果を出す）
- ・美的追求（美しいものを創る）
- ・愛他性（人の役にたつ）
- ・自律性（他からの束縛を受けず自分でやる）
- ・創造性（新しいものを創り出す）
- ・経済的報酬（お金をたくさん稼ぎ良い生活を送る）
- ・ライフスタイル（自分の望む生活を送る）
- ・身体的活動（身体を動かす機会をもてる）
- ・社会的評価（社会に広く認められる）
- ・冒険性、危険性（わくわくするような体験ができる）
- ・社会的交流性（いろいろな人と接点をもてる）
- ・多様性（様々な活動ができる）
- ・環境（仕事環境が心地よい）



<学校用務さんのお手伝い>



<学校司書さんのお手伝い>

ある禅寺の僧侶は言いました。「人の幸福は4つ、愛され、褒められ、役に立ち、必要とされること。働くことで少なくとも三つ手に入る。」

今、日本の社会では「働き方改革」「ワーク・ライフ・バランス」が課題となっています。「今の仕事は適職だ」から「今の仕事は天職だ」と言える大人は幸せです。しかし、近い将来、AIやテクノロジーの進歩で、今ある仕事のほとんどが無くなると言われています。中学生の皆さんが社会の中心となる頃は、ワークとライフの時間を区切ることはナンセンスで、ワークとライフが無差別になるかもしれません。「ワークアズライフ」です。今よりもさらに機械化が浸透した世界に住むことになる人類は、AIや機械にはできないことに価値を見出していきましょう。生きていることによって、価値を稼ぎ、そして価値を高める時代になるかもしれません。

## トピックス

2年生職場体験 9/3(月)～9/7(金)



<瑞穂ケーブルテレビにて>



<瑞穂食彩工房にて>



<カインズホーム青梅インター店にて>

ICT活用研究授業 9/10(月)



非常食配布訓練 9/13(木)



学校運営連絡協議会 9/12(水)



合同引渡(引取)訓練 9/13(木)



地震対応訓練 9/13(木)



道徳授業地区公開講座 9/15(土)



◎瑞穂中学校は「いじめ」を許しません！

いじめに限らず、何かありましたら学校へご相談ください。電話 042-557-0070

◎不審者に十分気を付けましょう。何かあったら、まず、「110番」！

☆福生警察生活安全課より

先輩や知らない人から頼まれて、物や現金等を受け取る行為、これは、実は“振り込め詐欺”の受け子の仕事。何の罪の意識ももたないで犯罪に巻き込まれることがあるそうです。十分注意しましょう。